

日常診療と専門外来，知識とテクニックという対照的なキーワード2組をひとつのタイトルにまとめ，特集を組んでみました。さて，タイトルに偽りなし，と思っただけでしょうか。

日常診療で経験することも多く，専門外来に紹介できれば助かるがなかなかそうもいかない症状，病態を挙げ，それぞれについて，専門外来を担当されている専門家の方々に日常診療で生かせることを念頭に，すなわち具体的で分かりやすく解説していただく企画です。結果として選ばれた6つの症状・病態（頭蓋変形，頭痛，便秘，夜尿・失禁，肥満，偏食）は，いずれも日常診療で必ず遭遇するもので，さらに診断や治療選択が意外に難しいものばかりです。

乳児の頭蓋変形は，経過観察でよいのか（変形性斜頭症など），専門施設への紹介が必要なのか（頭蓋縫合早期癒合症など），日常診療で判断を求められ苦慮することも珍しくないものです。

頭痛は，日常診療場面で診断や治療的介入を必要とすることが多い症状です。診断のための検査の必要性，内服治療が必要な場合の薬剤選択も迷うところです。神経画像検査や脳波検査は必要か？ トリプタンの有効性，安全性は？ 悩ましいところです。

慢性便秘もよく遭遇する症状ですが，適切に診療

されていない疾患の良い例ではないでしょうか。例えば，難治性便秘に進展する悪循環の形成メカニズムを正しく理解することは難しいものです。食事療法，生活習慣の改善，トイレトレーニングなど，いずれにおいても，個々の家庭の考え方や環境を考慮することが求められ，知識はあっても日常診療で実践することは容易ではありません。

夜尿症・尿失禁は子どものQOLに直結し，日常診療で対応に苦慮することの多い病態です。専門家が伝授する“日常診療に活かせる”鑑別法と薬剤選択のエッセンスは必ずやお役に立つものと思います。

肥満も日常診療で悩まされる，できれば専門家の助けを乞いたい病態です。その点で，「ちょっとしたコツ」と「子どもを思いやる気持ち」があればいい，とのメッセージは大きな救いになるはずです。

乳幼児の偏食，「食べないという相談」は，子育てにかかわる心配ごとの常連です。曖昧にされがちな定義，評価方法，対応について，日常診療に活かせることを前提に，簡潔にまとめて頂きました。

この特集でお伝えした専門家秘伝の知識とテクニックが，皆様の明日からの日常診療に活かされることを祈っております。

（高橋 孝雄）

編集：伊藤保彦・中西敏雄・岡部信彦・清水直樹・高橋孝雄（ABC順）

小児科

第65巻 第2号 2月号

2024年2月1日発行（毎月1回1日発行）

定価3,190円（本体2,900円＋税10%）

年間購読料金

定価48,950円（本体44,500円＋税10%）

〔年間13冊（増刊号，増大号を含む）の誌代〕

〔年間予約購読者に限り送料無料〕

※別冊は年間購読に含まれません※

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村 直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

Tel 03-3811-7165〔雑誌部直通〕

Tel 03-3811-7184〔営業部直通〕

Fax 03-3813-0288

www.kanehara-shuppan.co.jp

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社 Tel 03-3637-0005

広告申込先 株式会社文京メディカル Tel 03-3817-8036

・本誌に掲載する著作物の複製権，翻訳・翻案権，上映権，譲渡権，公衆送信権（送信可能化権を含む），貸与権，二次的著作物への利用に関する原著者の権利は，金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は，そのつど事前に，出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088，FAX：03-5244-5089，E-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。